**低学年**

○　主題名　　わがままばかりしていると（Ａ　節度、節制）

○　教材名　　かぼちゃのつる

○　ねらい　　やってもいいけれどやりすぎることが、まわりに迷惑をかけたり、自分がつらい思いになったりすることに気付き、節度をもって行動しようとする態度を育てる。

○　学習指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学習活動（主な発問と予想される児童の反応） | 具体的な指導・援助 |
| 導入５分 | １．教材の「かぼちゃ」の気持ちに寄り添えるような発問をする。 | ・「楽しくて、いつまでもやっていたいと思うことは何ですか。」等が考えられます。  ・直接、教材に入ることも考えられます。 |
| 展開37分  終末３分 | ２．教材を範読する。  ◇事前に登場人物（かぼちゃ等）を確認し、子どもたちの内容理解につなげます。  ◇イラストを貼るなど、視覚的にわかりやすいように教材提示を工夫すると、子どもたちが教材に入りやすく、自分とのかかわりがもちやすくなります。  ３．人間理解の発問をする。  〇かぼちゃはぐんぐんつるをのばしているね。どんな気持ちかな。  ・たのしいな。  ・もっとのばしたい。  ・あっちまでいってみたいな。  ・おおきくなってうれしいな。  〇（みつばち、ちょう、すいか、こいぬが言っていることを聞いたとき）かぼちゃはどんな気持ちだろう。  ◇かぼちゃ以外の登場人物がどんな気持ちなのかを聞き、「周りが見えなくなるほどわがままな行動をしていると、人からはどんな風に見られるか」に気付かせます。  　・うるさいな。ほっといて。  　・ぼくはもっとのばしたいんだ。  　・ちょっとぐらいいいじゃない。  　・いまはゆるしてよ。  ◎ぽろぽろ涙をこぼして泣いているかぼちゃは、どんなことを思っているのだろう。  ・つるをのばさなければよかった。  ・つるをのばしてもいいけれど、のばしすぎたことでみんなにめいわくをかけてしまった。  ・伸ばしすぎたことでつるがきられてしまった。困った。  ・チョウチョに注意されたとき、そこで+やめればよかった。  ・最初から、自分の畑でつるをのばしていればよかった。  ・何回も言われ、犬にいわれたところでみんながいやがっていることがわかり、やめればよかった。  ４．自分の生活を振り返る。  〇このかぼちゃのように、やりすぎてしまったことはないですか。やりすぎてしまったとき、どんな気持ちでしたか。  ５．教師の話をきく。 | ◇イラストを見せて、「このとき、かぼちゃはどんなことを考えているかな」等も考えられます。  ・「のばすことが気持ちいい」「のばすこと自体はよくないことではない」ということをおさえる。  ・イラストとともにセリフを貼ることで、教材の内容を整理し、板書を見れば内容がわかるよう工夫する。  ・読み取りにならないように、板書で整理された考えから、自分はどの気持ちが強いのかと問いかけ、この場面での自分の気持ちに気付かせる。  ・「つるをのばすことはだめなの？（いいの？）何がいけなかったの？」と問いかけ、つるはのばしてもいいけれど、伸ばしすぎることがだめであることを感得させる。  ・「こんなことにならないために、どこでどうすればよかっただろう。」と問いかけ、判断する力をつける。  ・導入のときに出された子どもたちの意見をつないで、ふり返るように工夫する。  ◇自己を見つめやすいように、やりすぎてしまった事例を紹介することも考えられます。  ◇やりすぎなかったことで、よい暮らしができたときの、教師の体験談を紹介する等が考えられます。 |

＜板書計画＞

みつばち・ちょうちょの絵

・たのしいな

・もっとのばしたい

・うれしいな

・こまった

・こんなにのばさなきゃよかった

**・・・・・**

**ぽろぽろなみだをこぼしてないているかぼちゃは、どんなことをおもっているのかな？**

だい○○かいどうとく

かぼちゃのつる

すいかの絵

かぼちゃの絵

**・・・・・**

**じぶんのせいかつをふりかえって**

こいぬの絵

・ほっといて

・ぼくはもっとのばしたい

・いいじゃない

くるまの絵

絵の周りにそれぞれのセリフもあわせて提示するなどの工夫をします。